

響

ひびき

浄土真宗・お東

真宗大谷派 どうじょうじ
道誠寺報

No.76

2023年6月1日発行



絵: 百田稔さん

無碍光の利益より 威徳広大の信をえて

かならず煩惱のこおりとけ すなわち菩提のみずとなる

罪障功德の体となる こおりとみずのごとくにて

こおりおおきにみずおおし さわりおおきに徳おおし

『高僧和讃』曇鸞和讃

道誠寺 行事日程表

<u>盂蘭盆会法要</u>	8月15日(火)15時
<u>秋季彼岸法要</u>	9月21日(木)14時
<u>報恩講</u>	11月9日(木)14時



俗名	法名	俗名	法名
<input type="checkbox"/>	釋尼	○	釋○
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	○
<input type="checkbox"/>		○	○



春秋彼岸・盂蘭盆会について
 お寺の本堂では、参詣された皆さまと法要をご一緒にお勤めしています。

ご参詣のご都合がつかず、御布施を現金書留や銀行振り込みにてお送りくださる方は、亡き故人さまの法名、俗名をお知らせください。

振込先は
 ゆうちょ銀行 宗教法人 道誠寺
 店名 〇五八 ゼロゴハチ
 普通預金 5129219

ご自宅や本堂での戸別の参勤も承っていますので、ご依頼ください。

初（新）盆や毎年のお盆参りについて

三つの方法があります。①お寺で個別で希望の時間に勤める
②お寺の合同法要に参詣する ③ご自宅で希望の時間に勤める

その他、同朋会などの定例行事のご案内や様子などは、ホームページでお知らせしていますので、ご覧ください。



行事報告



↖ ↑ わたちでブツダ(2・3月)

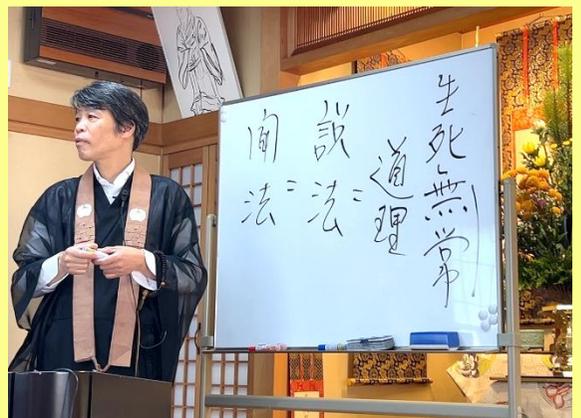
新松戸イタリアンレストランでの法話会

← 花まつり(4月)

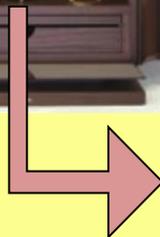
お釈迦さまの誕生日を祝い、子どもたちが甘茶をかけてお参りました

↓ 親鸞教室(4月勝善寺・5月道誠寺)

百々海真先生より「聞法の姿勢」のテーマでご法話を聴聞しました。



お内仏(お仏壇)の中心にご本尊「阿弥陀如来」をご安置ください。
 ご本山(真宗本廟・東本願寺)からお受けしますので、お寺までお問い合わせください。



○通夜・葬儀について

段取りやわからないことなどがあれば、お寺までご相談ください。お布施については随意です。無理のない範囲で精一杯お包みください。(ただし、院号法名や東本願寺・真宗本廟に収骨をご希望の方は、ご本山に相続講金をお納めしますので、ご相談ください)

令和5年(2023年)度の年回忌案内

回忌	命終された年
1周忌	2022年(令和4年)
3回忌	2021年(令和3年)
7回忌	2017年(平成29年)
13回忌	2011年(平成23年)
17回忌	2007年(平成19年)
23回忌	2001年(平成13年)
27回忌	1997年(平成9年)
33回忌	1991年(平成3年)
50回忌	1974年(昭和49年)

○年忌法要

(ご法事)について

本堂、ご自宅のお内仏前、(墓前)でお勤めします。

日程や場所がお決まりになられたら、お寺へご連絡ください。

TEL 047-337-5305

宝華千万種 弥覆池流泉

微風動華葉 交錯光乱転 『浄土論』

【意識】千万の華は 池の水際を覆い

微風、吹き渡れば 光は華と入り乱る



曇鸞大師は、この偈文を繰り返し口に頌することによって、その光に照らし出され見えてきた穢土の相をあきらかにされた。そして、その私たちの現実生活を見そなわした菩薩の大悲の心が、その浄土の莊嚴の背景にあるととらえられている。

自分の思いを中心にして生きる私たち人間であるから、環境と人間との関係は利用関係にある。そのため、様々な公害が生まれ、環境汚染につながって、地球環境がもっている命を育む愛が人間の手によって歪められている。

右の言葉は、天親菩薩の『浄土論』という偈文の言葉で、その環境の代表の一つとして、阿弥陀仏の願心によって莊嚴された浄土の「水」について取り上げられ、光と色に満ち、いのちの輝きにあふれた世界が見事に詠われている部分である。

私たちが生きる上で、一日として欠かすことのできない非常に大事な水は、時には大波になって人々を驚かせたり、流水となって人々を脅かしたり、非常に困らせる一面をもっている。

けれども、浄土に莊嚴される水の功德は、人々の生活と水は相い称い、仏道は自分の外側にあるのではなく、わが身自身の中にあることを知らせ、仏・法・僧の声が、どこまでもわが身に響かせていく。つまり、水が私たちに「仏事を為す」と、曇鸞大師は『浄土論註』で表現されている。

あとがき

▼新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを「五類」に引き下げられましたが、しばらくはご葬儀やご法事などの仏事や、お寺の行事は、感染症対策のもと執り行い、読経中もマスク着用していく予定です。



▼一月には真宗会館の報恩講へ有志のご門徒さんたちで参詣しました。オンライン配信は継続されていますが、仏事について徐々にコロナ以前の形式に戻ってきています。

▼道誠寺のホームページが新しくなり、以前はなかった「お問い合わせ」の項目を新設しました。ありがたいことにお問い合わせが少しずつ増えております。急を要する場合は、お電話でお問い合わせください。(釋光生)

「お問い合わせ」では、名前やメールアドレスをお書きください



「道誠寺」を検索し
トップページ右上
「お問い合わせ」を
クリックください

お問い合わせ

道誠寺へのお問い合わせは、以下のメールフォームより必要事項をご記入のうえ「送信する」をクリックしてください。

道誠寺より返信がない場合、あるいは念を要する場合は、お手数ですが、お電話（047-337-5305）にてご連絡をお願いいたします。

お名前（必須）

メールアドレス（必須）

電話番号

ご用件（必須）
 葬儀・法事など仏事について 法話会など行事について その他のお問い合わせ

お問い合わせ内容（必須）



ホームページをご覧いただきありがとうございます。

真宗大谷派 ^{どうじょうじ} 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野

1-26-31

TEL: 047-337-5305

URL:

<https://dojyoji.com>

メールアドレス

ichikawadojyoji

@gmail.com

住職 釋光生

副住職 釋潤生

前住職 釋慈敬

